



Ⅱ－08 品番別受注残・在庫集計表



現物・先物 について

[現物]
在庫実績があるものを意味します。
帳票上では
■在庫数
として表示します。

[先物]
在庫実績がないものを意味します。
帳票上では商品
マスターの生産
予定数を表示
します。

品番別受注残・在庫集計表の役割

指定した品番の受注数、在庫数、または生産数、納期をリストに出力します。
単品管理時は色・サイズ別に受注数、受注金額を出力します。

操作方法

1. **明細序列**
[コード順]・[納期順]より選択します。
2. **受注日**
作表対象とする受注日を指定します。
未入力の場合、該当受注日全てを対象とします。
一受注日のみを指定する場合、開始・終了共に同じ受注日を指定します。
3. **納期**
作表対象とする納品日を指定します。
未入力の場合、該当納品日全てを対象とします。
一納品日のみを指定する場合、開始・終了共に同じ納品日を指定します。
4. **選択**
[現物]・[先物]の出力指定を選択します。(複数選択も可能です。)

受注管理システム



5. **マスターの担当者で抽出する**
得意先マスターに登録されている担当者を基準に抽出します。
6. **マスターの納期で抽出する**
商品マスターに登録されている納期を基準に抽出します。
7. **過不足を出力する**
商品マスターに入力した予定数と、受注数との過不足を表示します。
8. **受注残がマイナスの場合は0として計上する**
1 品番に対して複数の受注明細が存在し、なおかつ受注残がマイナスの明細が存在していた場合、それを 0 として集計結果を表示します。
9. **詳細条件**
項目毎に個別指定と範囲指定が可能です。(未入力の場合、明細に存在する全ての項目を対象とします。)

- ・ 個別指定
個別にチェックして指定します。(各項目共通) ※受注 No と品番の場合は入力して指定します。

個別設定 (各項目共通)

個別設定 (品番)



範囲指定

開始～終了で入力して指定します。(各項目共通)


※展示会の場合は開始～終了

で展示会リストから選択して指定します。

スペースキー押下で検索画面を表示します。

▼ボタン押下で展示会リストを表示します。

10. **出力**
出力ボタン押下で印刷プレビューが出力されます。

11. **印刷**
印刷プレビュー表示で  ボタン押下後にページ指定等を行い、**OK** ボタン押下で通常使うプリンタから出力されます。
印刷プレビューを閉じると、条件指定画面が表示されます。

12. **終了**
終了の場合**終了**ボタンで作表処理メニュー画面へ戻ります。